

「シャインマスカット」の上部支梗利用時は「形」ではなく「向き」で選ぶ！下向きの花穂でさらに省力化！

【概要】

- 1 「シャインマスカット」の花穂整形時に上部支梗を利用する場合、下向きの花穂を選択することで、果房管理作業時間を上向きの花穂よりも約2割、花穂先端を利用する場合よりも約3割削減できます。



図1 新梢誘引後における花穂の向き
実線：下向きの花穂 破線：上向きの花穂

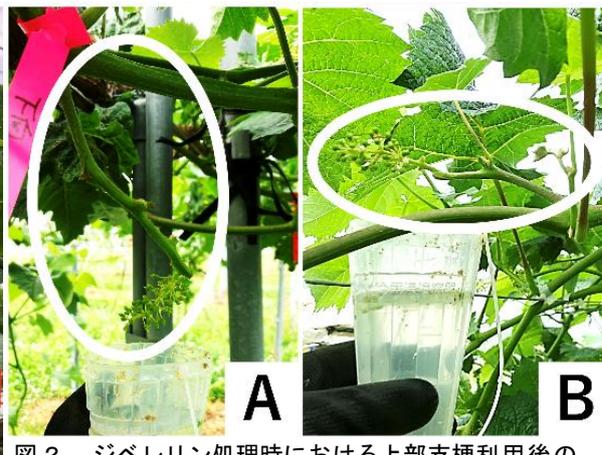


図2 ジベレリン処理時における上部支梗利用後の花穂の向きの違い
A：下向きの花穂 B：上向きの花穂

2 下向き花穂の選択方法

- (1) 新梢誘引作業時、いずれかの花穂が下向きになるように誘引してください（図1）。
- (2) 下向きの花穂がない場合は、軽い捻枝を行いつつ、花穂の向きを調整してください。

- 3 下向きの花穂を選択し上部支梗を利用すると、花穂が素直に下を向くとともに、花穂基部から果房肩部までの直線距離を確保できます（図2）。このため、ジベレリン処理や摘粒作業が容易となり、摘粒作業を含めた果房管理作業時間を削減できます（表1）。

図2摘要：【A】花穂が花穂基部からそのまま下に向いているため、ジベレリン処理時に薬液への浸漬が容易。
【B】薬液に浸漬させるために、もう一方の手で花穂を下に向ける必要がある。また、誘引線や新梢に浸漬カップが接触するなど、作業に時間がかかる。

【試験データ等】

表1 「シャインマスカット」における上部支梗利用時の花穂の向きが果房管理作業時間に及ぼす影響（R7）

試験区	花穂整形時間		GA処理時間(2回)		摘粒時間		花穂整形～摘粒時間合計		軸長 ^{※2} (cm)
	(分:秒)	割合 ^{※1} (%)	(分:秒)	割合 ^{※1} (%)	(分:秒)	割合 ^{※1} (%)	(分:秒)	割合 ^{※1} (%)	
上部支梗（下向き）	00:53	23.5	01:37	94.6	03:28	91.9	05:59	64.5	6.1
上部支梗（上向き）	01:07	29.4	02:30	145.9	04:25	116.9	08:01	86.6	3.0
花穂先端（慣行）	03:47	100.0	01:42	100.0	03:46	100.0	09:16	100.0	19.6

※1 割合：慣行を100とした場合の割合 ※2 軸長：花穂基部から果房肩部までの直線距離

※3 1区10房の作業時間を計測（3反復）

【令和7年度成果】ぶどう「シャインマスカット」の上部支梗利用時は下向きの花穂を選択することで果房管理作業を省力化できる（R7-指-12）